

独立行政法人国立女性教育会館及び男女共同参画センターの機能の強化及び施設の見直し

- 「独立行政法人国立女性教育会館（NVEC）及び男女共同参画センターの機能強化に関するワーキング・グループ報告書」（令和5年4月11日）に盛り込まれた施策・取組の着実な実施を目指す。

機能の強化

- 女性の経済的自立は、新しい資本主義の中核であり、社会全体で女性活躍の機運を醸成し、多様性を確保していくことは、我が国の経済社会の持続的発展において不可欠な要素である。
あらゆる地域・分野において横断的に女性活躍の基盤を強化していくため、各地域の実情に応じてきめこまやかに施策を進められるよう、男女共同参画センターが、関係者相互間の連携と協働の促進に必要な施策を推進する拠点機能を担うことを明確にすることを検討する。
- また、各地の男女共同参画センターが地域における多様な関係者と円滑に連携・協働し、その役割を十分に果たせるようにすることも必要である。
このため、現在の国立女性教育会館の機能を抜本的に見直し・強化し、内閣府が主導する男女共同参画社会の形成の促進に寄与するための新たな中核的組織の整備について検討し、具体化する。本組織には、男女共同参画に関する施策を総合的に行う「ナショナルセンター」、地域の男女共同参画センターを支援する「センターオブセンターズ」としての機能を担わせることを目指し、本組織及び男女共同参画センターが担うこととなる連携及び協働の促進、人材の確保等を、国及び地方公共団体の基本的施策として位置付けることを検討する。

施設の見直し

- 国立女性教育会館の機能の抜本的見直し・強化にあたっては、上記の機能を十分に発揮できるよう、ハード（施設）からソフト（機能）への転換を目指す。